

令和6年度 南安曇農業高等学校 学校評価表(自己評価)									
学校教育目標									
勉学・健康・品位の向上を図り、健康で教養豊かな科学的農業人を育てる。									
重点目標(中長期)				達成状況	成果	次年度への課題			
食料・環境・生命に関する教育を通して豊かな人間性と生きる力を育み、地域産業や地域文化の継承を担う人材を育てる。また、地域と連携して開かれた学校づくりを進め、安全で安心して学べる学校づくりに努める。				4.1 A	・学校全体の様々な活動を通じて、多くの方々に本校の教育活動に関心を寄せられ、ご支援いただいたことにより、生徒の成長の場となった。今後とも地域とともに歩む学校づくりを目指していきたい。	・学習に困難を抱える生徒への基礎学力の補充をどう行うべきか検討する必要がある。 ・生徒の多様な学習ニーズの対応に向けて、校内体制整備を検討していく必要がある。			
本年度の重点目標									
番号	項目	内容	観点(内容の詳細は別紙学校教育目標を参照)		達成状況	成果	次年度への課題		
1	地域連携	開かれた学校づくり	① 各教科の授業や農業クラブの研究部活動での地域連携の精選と充実を図る。	4.1	3.8 A	①では、農業クラブ研究部による学校開放講座を土曜日に年27回実施し、生徒による専門学習の成果や技術の普及とともにコミュニケーション能力の向上にも役立った。 ③では、産官学による新商品が開発され、南農ブランドの商品が多数生まれた。また、活性汚泥を使用した肥料試験の成果により県内初となる肥料が認可・登録された。黒沢洞合自然公園整備事業では、安曇野の自然を後世に伝える活動に年間を通して参加した。 ⑤では、卒業生を非常勤講師として迎え、その道のプロとして教鞭をとって頂き、高度で先進的な知識や技術の習得に繋がった。	②では、松本大学との連携協定に基づきマーケティング教育の再構築を図るため、関係する教科等のカリキュラムとの擦り合わせを行っていく必要がある。 ④では、学校Instagramのが好評を得ている一方で、学校ホームページでの情報公開も望む声が多いので、適時に発信していくよう努めたい。		
			② 松本大学との連携によるマーケティング教育を農業教育の中へ位置付ける。	2.8					
			③ 安曇野市との官学連携において、具体的な内容の検討と実施を図る。	4.1					
			④ 学校WEBページによる地域や中学向けの情報発信を有効に活用する。	3.8					
			⑤ 南農の発展に向けて、地域人材や同窓会との連携を図る。	4.1					
2	生徒指導・支援	安心・安全な学校	① よりよい生徒理解のため、情報を共有するための組織作りと職員会での情報共有を行う。	3.9	3.9 A	・一年間を通して生徒が落ち着いた学校生活を送れていて、自然と挨拶もできている。 ③・④では、アセス(2回)、キャリアカウンセリング(2回)での面談、SCによるカウンセリングなどで生徒の状況を早期に把握し、適切な対応に繋げることができた。また、外部関係機関のアドバイスや協力を得ながら組織的な対応に繋がった。 ⑦では、南農祭やクラスマッチ等の諸行事を通じて全校での関わりを持つことができたことはもちろん、南農祭では再生紙を利用したうちわの制作を全校企画で行い、一体感を醸成することができた。	③では、スクールカウンセラーや外部機関との連携が益々高まってきているので、特性や疾患、悩みを抱える生徒への教員間での情報共有を図りながら、早期の組織的な対応を心掛けていく必要がある。 ⑤では、生徒のスマートフォンや携帯電話の取扱いについて節度を持って利用できるよう粘り強い指導を今後も継続していきたい。また、自転車用ヘルメット着用率の向上に結びつくような交通安全講話を考えていきたい。		
			② いじめや生徒間トラブル、問題行動の未然防止につとめるとともに、問題の早期発見と解決の指導を行う。	3.9					
			③ 教育相談体制を充実し、生徒・保護者への周知を積極的に行う。	4.3					
			④ 生活アンケートやアセスを実施し生徒の状況を適切に把握する。	4.2					
			⑤ スマートフォンやインターネットへの関わり方について指導し、ネット上でのトラブルやいじめがないように図るとともに、問題を早期発見し拡大しないよう予防教育に努める。	3.4					
			⑥ 生徒会と連携し、携帯電話・スマートフォンの使用について生徒自身が使い方について考える取り組みを行う。	3.4					
			⑦ 様々な行事を通して、クラスや学年での生徒間のコミュニケーション活性化を図る。	4.0					
3	学習指導	学力の向上	① 授業アンケートを生かして授業改善を実施する。多くの生徒が「よい(よく分かる)」「たいへんよい(たいへんよく分かる)」と感じられるように努力する。	4.0	3.9 A	①では、年2回の授業アンケートにより「よくわかる」、「たいへんよくわかる」との回答が多かったため、今後も授業づくりに一層努力したい。 ④⑤⑥では、各専門学科の目標に沿って教育活動を展開できたことで、専門的な知識技能を競う農業クラブ活動においては全国大会等で優秀な成績を収めることができた。地域と連携した教育活動がカリキュラムのなかで展開されており、地域や産業を題材にした探究的な学習活動が盛んに行われた。	①では、観点別評価を活用し、到達目標をイメージしながら学習させることで、生徒が学習の主体となる授業づくりを引き続き目指していく。農業や環境に関わる素材の学習単元により、教科横断型の学びを進め、学習を深化させていく。 ②では、年間を通して国数英の3教科による基礎テスト、SPIテスト、各教科による課題、レポート作成により、家庭学習の習慣化を図る。漢検や英検、数検などの資格取得にも積極的に挑戦することで基礎学力の向上に結びつける。 ③では、専門学科において質の高い研究活動を展開するために職員による自主的な研修を充実させていく。		
			② 基礎的・基本的な学力の向上のため、各教科にて課題を出し家庭学習の習慣付けのための工夫をする。	3.5					
			③ 課題研究やプロジェクト研究等、探究的な学習への主体的な取り組みを通して、総合的な学力の向上に繋げる。	3.9					
			④ グリーンサイエンス科では、栽培・管理・栽培物の活用に関する基礎的知識・技術を習得させるとともに、交流学習や販売実習等の実践的な体験活動を通じて協働的な学習や言語活動の充実を図り、「コミュニケーション力」「企画力」「指導力」等、総合的な学力の向上を図る。	4.1					
			⑤ 生物工学科では、植物・動物・微生物に関する基礎的知識・技術を習得させるとともに、実験・実習及び研究活動を通して、地域に根ざした「探究的な学び」である「あつみの学」を活用した地域資源を有効に活用する課題解決型学習の展開を図り、総合的な学力の向上を図る。	4.1					
			⑥ 環境クリエイイト科では、測量設計・土工施工・造園などの基礎的知識・技術を習得させるとともに、産学官連携の充実を図り、専門的・技能(資格取得等)の学習を通して、専門力と創造力を必要とする探究的な学びを実践する等、総合的な学力の向上を図る。	3.9					
4	キャリア教育・進路指導	キャリア教育の充実	① 就職・進学指導体制の充実を図るための研究、情報収集を続ける。	4.1	3.9 A	③では、学習室を配置し、生徒が自主的に学習できる環境を整え、個別学習の充実が図れた。 ④⑤では、土曜塾(塾塾)に資格取得の講座を開設し、補習授業を行い、難関な資格にも合格することができた。生徒からの要望で講座を開設したため1、2年生の参加が増えた。 ⑥では、塾の講師、教育実習生による進路講話、信州クランク塾、専門高校生英語合宿等を通じて大学進学希望者の意識づくりが行えた。	②では、生徒が放課後の諸活動に影響があることにも触れ、運用方法を検討した結果、個別指導や進路相談、スクールカウンセリング等を充実させていくことにより、キャリア形成を支援していくこととした。		
			② 「キャリアウィーク」が更に有効な取り組みとなるよう内容を検討し実施する。	3.3					
			③ 生徒の多岐にわたる進路希望の実現のため、個別指導の充実を図る。	4.1					
			④ 資格取得に取り組む学習環境を整え、多くの生徒が合格できるように支援を行う。	4.1					
			⑤ 塾への生徒の参加を促し、それぞれの進路実現に向けた学力の向上を図る。また、1・2年生の積極的な参加を促す。	4.0					
			⑥ 大学進学希望者について、様々な機会を活用し学年・クラス担任と連携して早い時期からの意識づくりを行う。	4.0					

* 達成状況の評価の基準は

S:目標を大幅に上回った

A:目標を上回った

B:ほぼ目標どおりできた

C:目標を下回った

* 5段階の評価数値による集計で

4.5以上

4.4~3.6

3.5~3

2.9以下

を目安とする

令和6年度 長野県南安曇農業高等学校 学校関係者評価

1 各評価項目のそれぞれの評価の観点についての評価

(評価は5:達成できた、4:ほぼ達成できた、3:改善の余地がある、2:相当の改善を要す、1:判断できない)

評価項目	評価の観点	評価
重点目標 (中・長期的目標)	食料・環境・生命に関する教育を通して豊かな人間性と生きる力を育み、地域産業や地域文化の継承を担う人材を育てる。また、地域と連携して開かれた学校づくりを進め、安全で安心して学べる学校づくりに努める。	4.7
1 開かれた学校づくり (地域連携)	地域と連携した教育活動および高大連携事業の充実を図るとともに、本校教育活動の地域や保護者への広報活動を充実し開かれた学校づくりを進める。	5.0
2 安全・安心な学校 (生徒指導・生徒支援)	すべての生徒が安心して学習活動に取り組み、学ぶ喜びと充実感を得られるように生徒指導・生徒支援の充実をはかる。	4.4
3 学力の向上 (学習指導)	すべての生徒が『分かった』と感じ、学ぶ喜びと充実感を得られるように授業内容の充実をはかるとともに、専門科では学科・コースごとの特性を生かした授業を追求する。	4.4
4 キャリア教育の充実 (キャリア教育・進路指導)	生徒の将来を見据えた3年間の繋がりのあるキャリア教育を作り上げるとともに、卒業時に希望の進学就職ができるように進路指導の充実を図る。	4.9

2 いただいた意見・提言等

教師が生徒の興味関心に寄り添い、共に築き上げていこうとする校風がとても素晴らしいと感じます。そしてこのことが生徒も教師も様々な活動にチャレンジしようとする主体的な姿につながっているのではないかと思います。また、これからも生徒と教師にとってウェルビーイングを実現できる場所となることを期待しています。

南農は地域農業の発展と次世代の農業者を育成する重要な役割を担っていることを改めて実感しました。農業クラブでの各大会入賞、外部連携を中心とした活動は、農業の面白さややりがい強くアピールし、外部連携を通して地域社会とのつながりを深め、中学生に対して農業高校の魅力を十分伝えられて、入学者希望者が増加していると思っています。そこには教員が生徒一人ひとりに対しての熱心な指導があり、最新技術や知識を取り入れた内容で生徒も現代の農業問題に対応できる力ができていると思っています。

これから少子化問題や後継者不足が深刻になっていく中で農業の魅力を伝えることのできる農業高校は重要な場となっていくと思います。これからも地域農業の発展の為に一層がんばっていただきたい。

指導者（先生方）が充実していれば、生徒達も充実している学校生活を営むことが出来ると証明されている高校である。各専門の先生が生徒達の可能性やモチベーションを上手に引き出し、地域へと還元する教育が出来ていると思われる。情熱のある指導に感謝いたします。PTA活動とおして感じた事は農業（第1次産業）に対し、熱心なご父兄が多く見受けられました。南農に対しての期待感があるのではと思います。ぜひ、その期待に答えてください。

学校に訪問しときに何人かの生徒さんと出会いますが、どの生徒さんも大きな声で「こんにちは」と明るくあいさつをしてくれます。自然体であいさつができることは、豊かな人間性を育む教育への先生方の指導の成果であり「こんにちは」が言える校風を継承して行って欲しいです。

南農祭において、恒例になってはいますが、多数の市民が朝早くから列をなすほど学校に訪れて、教育効果である農産物等を求めていること。また、シクラメンの花等をリヤカーに載せて生徒さんが地域内を回って市民に直接販売している姿は、とても清々しく如何に南農高校が地域に密着した学校であり市民から期待されている学校であることが伺えます。これからも地域を大切にしている学校であって欲しいと思います。

全ての評価項目について評議員会で報告を受けた内容では、それぞれ基本に生徒さんと先生方との信頼関係から成り立っていることが感じられました。

生徒のみなさんがそれぞれの目標にむかって取り組んでいる様子を伺い、とても大切なことですので、とても良い方向だと思っています。又、意欲を持って商品開発等に取り組んでいる状況を様々な所から見聞き、手に取っています。すばらしいと感動しています。これらのことも教職員の先生方のご指導のおかげと感謝しております。引き続き、お世話になります。よろしくお願い致します。

先生方のに努力に感謝申し上げます。

外から見る学校の姿は現在躍動に満ちている雰囲気を感じます。教職員の皆様の努力に感謝申し上げます。この雰囲気が今後も続くことを祈念します。一年間ご苦勞様でした。